



豊玉二中だより

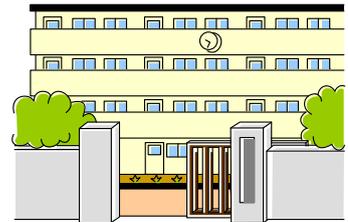
平成30年度 第11号
発行日 3月 7日(木)
練馬区立豊玉第二中学校
校長 神山 信次郎

アンケートにご協力ありがとうございました

校長 神山 信次郎

保護者の皆様、学校評価アンケートにご協力いただきまして誠にありがとうございました。

今年度も質問数は20とし、保護者の方々だけでなく、生徒対象、そして教職員対象のアンケートも実施しました。保護者の方々については、92.4% (158人/171人) から回答をいただきました。極めて高い回答率であると捉えています。ご協力に感謝申し上げます。(生徒はほぼ全員が回答、教職員は全員が回答しました。)



アンケート用紙に記述欄を設けましたので、保護者の方々より、また生徒からも数々の意見・要望等が出されました。それらの内容については、次年度の教育計画を立てるに当たり、十分参考にしていきたいと考えています。

アンケートには

1 とてもそう思う 2 思う 3 あまり思わない 4 思わない 5 わからない

の5つの選択肢を設けました。

集計結果については、「1 とても思う」と「2 思う」を合わせた数の割合が8割を上回るものを肯定的評価として分析しました。

全体的には、概ね肯定的評価が多く、本校の教育活動が理解され、受けとめられているものと分析しています。ただ、課題が指摘されている項目もあり、今後、対応策を十分協議していく必要性を感じています。

以下、保護者対象アンケート・生徒対象アンケートの質問項目ごとの集計結果に対する所見を述べさせていただきます。

質問1 「生徒は、楽しい学校生活を送っている。」

今年度も本校の目標は、保護者や地域の信託に応える『質の高い教育の提供』及び『安全・安心で信頼される学校づくり』です。保護者は87%、生徒は86%が肯定的評価でした。約9.8%の否定的評価にも十分目を向け、生徒全員が安心して楽しい学校生活を送れるよう、努力を重ねていきたいと考えています。アンケートの記述欄に書かれた意見や要望等も参考にしていきます。

質問2 「落ち着いた学習環境の中で授業が行われている。」

保護者の肯定的評価は昨年度の81%から6.2%上がり、今年度は87.3%となりました。生徒全体では昨年度の79%とほぼ同じで今年度は79.2%です。学年別に見ると、1年生徒の肯定的評価が72.3%であり、2年生徒の肯定的評価87.5% (昨年度は72%)、3年生徒の肯定的評価76.9% (昨年度は67%) となっており、現2、3年生の肯定的評価は、ともに昨年度よりも上昇しています。引き続き落ち着いた環境づくりを進めていきます。

質問3 「朝の読書活動は、生徒が読書に親しみ読解力を高めていくために役立っている。」

保護者の肯定的評価は昨年度の77%から今年度は83.4%へ上昇しましたが、生徒は昨年度の75%から今年度は64.3%と10.7ポイント下がっています。生徒の肯定的評価がとて減少しているのはとても残念に思いますが、学校としては朝読書の活動は重要な取組であると考えています。今年度のアンケートでも、生徒からは「読書の時間を増やしてほしい」という意見もあります。学校図書館の活用に力を入れて継続的な読書習慣の定着を図るとともに、朝読書が役立っていることのアピールをもっとしていきます。

質問4 「『わすれないぞう』（連絡・日記帳）の活用は、明日の学習への意識付けをさせるとともに、担任の生徒理解に役立っている。」

保護者の肯定的評価は75.8%（昨年度は60%）、生徒の肯定的評価は70.2%（昨年度は65%）で共に肯定的評価が上昇しました。今後も生徒1人1人へのきめ細かな指導、支援を進めていくために、この取組は必要であると考えています。今後も継続していきます。

質問5 「学校は、生徒の学力の定着・向上を図るために、少人数の習熟度別学習を取り入れた授業や、授業の改善に取り組んでいる。」

保護者の肯定的評価は昨年より10.5ポイント上がり81.5%でした。生徒の肯定的評価も6.6ポイント上がり69.6%でした。どちらも昨年度より肯定的評価は上がっていますが、生徒が少人数授業の良さをもっと実感できるように、指導体制の工夫に取り組み、諸研修を推進していきます。



質問6 「学習指導の評価・評定の方法（成績の出し方）について生徒が理解できるように説明している。」

保護者の肯定的評価は昨年度より7.3ポイント上がり87.3%、生徒も3.3ポイント上がり86.3%でした。概ね良い評価だと捉えています。今後も、授業内における説明や、面談時や保護者会での説明をわかりやすいようにしていく努力を重ねていきます。

質問7 「学習指導の評価・評定は適正で信頼できる。」

保護者の肯定的評価は昨年度よりも3.2ポイント上昇し73.2%、生徒の肯定的評価も3.3ポイント上昇し87.5%でした。今後も、評価・評定の精度を高めていく努力を続けていきます。

質問8 「道徳教育は道徳の時間を要として日々の生活の中で行われ、心の教育が推進されている。」

保護者の肯定的評価は昨年度の61%から66.9%へ上昇しました。生徒の肯定的評価は昨年度より12.3ポイントと大幅に減少し63.7%でした。今年度も『道徳の教科化』に向け、道徳の校内研修会や研究授業にも取り組み、教員の意識を高める努力をしてきましたが、授業の実践に十分に生かされていない部分があると捉えています。今後も教材開発、指導の工夫を重ねていく必要があると考えています。

質問9 「三者面談は、学習や教育相談のために役立っている。」

保護者の肯定的評価は昨年度の87%から微増し87.9%となり、極めて高い評価です。生徒の肯定的評価は5.4ポイント下がり72.6%でした。三者面談は短時間でも保護者・生徒にとって充実した機会となるよう工夫しています。今後も準備をしっかりと行い、生徒にもわかりやすく充実した時間になるように、工夫していきます。

質問 10 「学校経営計画、学校だより、学年だよりや各お知らせの文書等は、教育目標、指導方針及び指導内容についての保護者の理解を深めるために役立っている。」

保護者の肯定的評価は昨年度から1.9ポイント上がり今年度は87.9%でした。生徒の肯定的評価は4ポイント下がり75%でした。学校の努力を概ね認めていただいていると考えていますが、更なる努力を重ねていきたいと考えます。学校だよりや学年だより、さらには学校ホームページなども通じて、今後も日頃の教育活動、生徒の学習・活動の様子等を積極的に伝えていきます。



質問 11 「学校公開・授業参観・道徳授業地区公開講座・保護者会は、学校と保護者・地域が理解を深める機会となっている。」

保護者の肯定的評価は昨年度より0.1ポイント下がり80.9%となりました。今年度も土曜授業を年間11日実施し、公開日の日数を多くしたことが高評価につながったとも考えています。次年度も、今年度同様、土曜授業を11日実施します。また、保護者会の回数を第1、2学年については、今年度と同回数実施します。

質問 12 「生徒は、時間・服装・言葉遣い・挨拶などの基本的な生活習慣が身に付いている。」

保護者の肯定的評価は昨年度から1.5ポイント上がり88.5%、生徒の肯定的評価は7.2ポイント下がって79.8%となりました。概ね、高評価であると捉えています。ただ、今年度も本校の伝統である「元気な挨拶」の推進・充実を望む意見が多数出ています。このことを課題としてしっかり受けとめ、学校生活の基本となる生活習慣の指導について次年度も学校全体で継続的に取り組んでいきます。

質問 13 「部活動は生徒の主体性、協調性、継続性、忍耐力などを育成し、健全な心身の発達につながっている。」

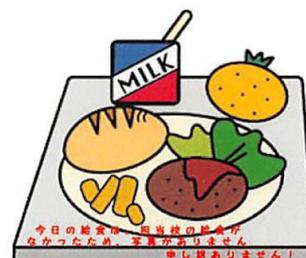
保護者の肯定的評価は昨年度より2.7ポイント下がって80.3%でした。生徒の肯定的評価は昨年度から2.1ポイント上がって79.8%でした。本校の部活動については、生徒数、教員数、学校施設面の関係で、他校に比べると部の数は少なめです。限られた条件の中でも生徒が伸び伸びと活動できるよう今後も工夫を重ねていきます。なお、次年度からは特別支援教室の実施に伴い、若草の教員が行っている部活指導が今年度同様の指導体制にならないこともあります。ご了承ください。

質問 14 「給食は内容・量ともに適切である。」

保護者の肯定的評価は6.7ポイント下がり64.3%でした。また、生徒は0.2ポイント下がって76.8%でした。今年度から給食調理の委託業者が変わりました。前期は調理作業等に不十分な面が有り、見た目や味が整わないことがありましたが、少しずつ改善されてきています。本校の栄養教諭が毎日全教室を回り給食指導の様子を把握し、献立の工夫・改善に努めています。また、アレルギー対応についても保護者と連携し適切に進めています。今後も同様の取組を粘り強く推進していきます。

質問 15 「保健、食育などの健康に関する指導や避難訓練、交通安全等の指導は適切に行われている。」

保護者の肯定的評価は昨年度から3.6ポイント上がり86.6%でした。生徒は1.4ポイント下がり78.6%となりました。毎月異なる想定で実施される避難訓練、健康に関しては適切な時期に養護教諭から全校生徒に向けて、保健講話で熱中症や感染症などの予防法や対処法の指導を行いました。食育についても栄養教諭の講話や食育だより等を通して、生徒の意識を高める指導を推進しています。



質問 16 「運動会などの行事は生徒の主体性を生かし、実りある行事となっている。」

保護者の肯定的評価は、昨年度より3.3ポイント上がり94.3%、生徒の肯定的評価は昨年度より2.7ポイント下がったものの83.3%でした。極めて高い評価であると捉えています。次年度も、生徒の主体性を活かす視点を大切にしながら取り組んでいきます。

質問 17 「進路についての説明会（年2回）および進路指導は有効に行われている。」

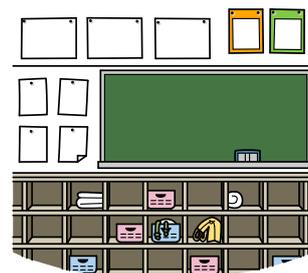
保護者は昨年度より肯定的評価が4.4ポイント上がり83.4%、生徒は昨年度より肯定的評価が0.6ポイント上がり71.4%でした。ただし、第3学年保護者は肯定的評価が92.7%であり高評価でした。次年度も、進路説明会や進路指導を通して情報提供を丁寧に行なっていきます。

質問 18 「職場訪問・職場体験等のキャリア教育や留学生交流会・ソーシャルスキルトレーニングなどの体験学習を通して、自己と他者への理解を深める学習が適切に行われている。」

保護者の肯定的評価は5.4ポイント上がり85.4%、生徒の肯定的評価も0.3ポイント上がり83.3%でした。概ね学校の取組は評価されていると考えています。「職場体験学習の日数を増やしてほしい」との保護者の声もあり、昨年度から日数を2日にして実施しています。また、様々な体験学習を保護者・地域の方に理解・協力していただけるよう、さらなる情報発信に努めていきます。

質問 19 「校舎や校庭、体育館（更衣棟を含む）が整備され、それらを活用した教育活動が行われている。」

保護者の肯定的評価は3.8ポイント上がり89.8%、生徒の肯定的評価も1.4ポイント上がり74.4%でした。本校は、体育館・更衣棟・プールまでは校舎から離れており、やや不便な面もありますが、校舎は4年前に新校舎となり大変快適な学習環境が整備されています。その利点を今後も教育活動に活かしていきます。



質問 20 「小・中学校間の円滑な接続を図るため、小学5・6年生が登校し、中学校教員による授業を体験することは適切な取組である。」

生徒の肯定的評価は昨年度から3.7ポイント上がり66.7%でした。また、保護者の肯定的評価は、昨年度より2.4ポイント上がり、92.4%となりました。特に2年生保護者の肯定的評価は96.4%と高評価、3年生保護者も肯定的評価が90.9%で高い評価でした。「小中一貫プログラム」に基づく取組の成果が、保護者に十分に認識されていると感じています。次年度も改善を重ねながら取り組みを進めていきます。

3月19日は卒業式。3年生がいよいよ本校を旅立ちます。
1人1人のこれからの人生に幸多かれと祈ります。

今年度1年間、誠にありがとうございました。
平成31年度もよろしく願い申し上げます。

